

2017年度「卒業論文・卒業研究」執筆に関する内規

外国語学部 ドイツ語学科

卒業論文・卒業研究は大学における4年間の学習の総まとめにあたるものであり、執筆することが望ましい。本内規は、「ドイツ語研究」「ドイツ語圏研究」「ヨーロッパ研究」の専門分野で卒業論文を執筆する学生（13年次生以前）、または「卒業論文・卒業研究」の履修が卒業要件となる研究コース/第二主専攻を選択した学生（14年次生以降）のためのものである。執筆に当たってはこの内規の他に履修要覧の外国語学部（学部共通）ページおよびドイツ語学科ページを参照すること。

I. 執筆の流れ

- 1) 卒業論文・卒業研究を執筆する場合、卒業予定年次の履修登録期間中に Loyola 上で「卒業論文・卒業研究 I (春学期)」「同II (秋学期)」を登録しなければならない。
- 2) (13年次生以前) 卒業論文・卒業研究は2年次に登録した専門分野においてのみ履修できる。そのため、専門分野を変更する場合は必ず事前に外国語学部事務室へ連絡すること。
(14年次生以降) 卒業論文・卒業研究は研究コースを第二主専攻として選択した場合に限り履修することが出来る（副専攻として選択した場合には履修出来ない）。
- 3) (13年次生以前) 学科指定の「卒業論文・卒業研究作成届」に記入し、主査（指導教員）と副査（任意）からの押印を得た後、期日（4月28日）までに外国語学部事務室（2-830）に提出する。
(14年次生以降) 学部指定の「卒業論文・卒業研究 履修登録報告シート（Loyola からダウンロード）」に記入し、主査（指導教員）と副査（任意）からの押印を得た後、履修登録期間中に外国語学部事務室（2-830）に提出する。
- 4) 指導教員と相談の上、論文を作成する。夏休み前に論文計画（アウトライン）を作成し、指導を受けることが望ましい。論文以外の形式の卒業研究の場合も指導教員の指導を受けて進める。
- 5) 卒業論文のオリジナルは学事センターへ指定の期間内に提出する（12月上旬を予定、履修要覧参照）。装丁は原則としてA4判、横書き、黒表紙（市販のA4版縦型の黒い硬表紙、学内の書店で購入可能）で左綴じにすること（表紙および綴じ紐は各自購入）。提出したオリジナルの論文はドイツ語学科長室に保管される（次年度以降、閲覧希望の申し出があった学生に公開）。提出した原稿以外に、デジタルデータをフロッピー、USBメモリー、CD-R、DVDなどの媒体もしくはメールを使って指導教員に渡しておくこと。
- 6) 提出者は、秋学期（1月下旬）の「ドイツ語圏研究D（2年次生向け）」内で行われる卒業論文・卒業研究発表会に参加し、研究発表を行うこと。
- 7) 「卒業論文提出票」の配布期間は、例年11月頃 Loyola の学事センター（教務）掲示板で通知されるので各自確認すること。

II. 卒業論文執筆要領

1. 本文の記述

- 1) 記述言語は日本語もしくはドイツ語とする。
- 2) 原稿は、原則としてA4用紙縦置き、40字×30行の横書き印字とする。字数は、和文20,000～30,000字（20枚）を目安にする。ドイツ語文は半角70字×30行にし、全体で60,000字（30枚）を目安にする。

- 3) 本文に対する外国語要約（レジユメ）をつける。和文にはドイツ語文のレジユメ約 600 ワードを、ドイツ語文には和文のレジユメ 1500 字を目安にして作成する。
- 4) 和文は「です・ます」調ではなく、「である」調を用いる。ドイツ語文では新正書法で執筆する。
- 5) 本文中の節・項などの見出しの番号は、数字とピリオドで示す。
[節] 1.
[項] 1. 1.
[項 (小)] 1. 1. 1.
- 6) ダッシュ (—) とハイフン (‐) 、等号 (=) と二重ハイフン (=) を区別して用いる。
- 7) 執筆に際してはできるだけコンピュータ (MS office の Word やエディター) を用いること。
- 8) ドイツ語の執筆にあたっては日本独文学会HPの執筆要領「Ⅲ. Manuskript」も参考にする事：
http://www.jgg.jp/modules/organisation/index.php?content_id=55

2. 引用の記述

原則として原文をそのまま転写する。他人が書いたものを無断で引用することは盗作であり、厳しい処分の対象となる。他人の文や文章をそのまま引用する場合は、その出典を必ず示すこと。

- ・短い引用の場合は、和文では「」、欧文では、 “で引用部を囲み、著者名の姓名、刊行年、引用箇所の掲載ページを書く。引用された書物は本文末の参考文献リストに記載する。

例：○○○「○○…」 (吉田 2001: 130)

○○○, ○○... “ (Duden 2008: 250)

- ・長い引用の場合は「」や、 “を用いず、本文との間を上下1行ずつ、左右全角2文字分を開けて書く。

例：(本文) …○○○。

(1行空ける)

(引用文：2文字文下げる) ○○○○○……

○○○○○……

(1行空ける)

(本文の続き) ○○○…….

- ・間接引用の場合は、該当文の最後に () をつけて著者名の姓名、刊行年、引用箇所の掲載ページを書く。

3. 注の記述

注には上付きの通し番号をつける。注が文全体にかかる場合、句読点などの後に注番号をつける。注の説明は、論文の最後に引用一覧としてまとめても、各ページ下に脚注をつけてもよい。

例：○○○¹⁾ ○○○○とする。²⁾

4. 参考文献リストの記述

- 1) 日本語と他言語を区別せずに著者の姓名のアルファベット順に記載する。同じ著者に複数の文献がある場合は、発行順にする。

2) 記載項目

- ・和書・和雑誌論文など

a. 単行本：著者名 (出版年)：『書名』出版社名。

例： 望田幸男・三宅正樹 (1997)：『概説ドイツ史 (新版)』有斐閣。

b. 雑誌論文： 著者名 (出版年)：「論文名」『雑誌名』巻号、発行所、掲載ページ。

例： 有泉泰男 (2005)：「啓蒙主義から現代に至る「中世」の評価」『ドイツ語研究』第22号、ドイツ語圏文化研究所、21-35頁。

・欧文書籍・外国雑誌論文

a. 単行本：著者名（出版年）：書名. 出版地、出版社名.

例：Faber, Anne (2005) : *Europäische Integration und politikwissenschaftliche Theoriebildung*
Wiesbaden, VS Verlag für Sozialwissenschaften.

b. 雑誌論文：著者名（出版年）：„論文名“ In: 雑誌名、巻号、掲載ページ.

例：Hamilton, J.T. (2007): „Sinneverwirrende Töne'. Musik und Wahnsinn in Heines
, Florentinischen Nächten' “ In: *Zeitschrift für deutsche Philologie*, Band 126, 508-525.

c. Web ページの参照： 著者名：記事名 <URL>、執筆者が参照した日付.

例：Rues, Beate: *Angemessenheit und Aussprachenorm in Sprecherziehung und Zweitspracherwerb*,
<<http://www2.uni-jena.de/philosophie/germsprach/Norm.html>> 31.01.2006.

III. 卒業研究実施要領

卒業研究の提出物は、研究成果物とその成果物に対する解説・解題資料等を文書化したもの（8000字程度）からなる。研究成果を紙以外の媒体で提出する場合は、上書きできないようにプロテクトした状態のもの（例：CD-ROM もしくは DVD 等）を媒体としたうえで、文書化した解説資料と媒体を封筒等に入れ、必要事項を記入した提出票を封筒等の表面に貼付する形で提出すること。

IV. 履修証明について（13年次生以前）

専門分野の履修証明取得のためには、卒業論文・卒業研究の提出が必須となる。

履修証明取得に必要な単位の内訳は履修要覧を参照のこと。

V. その他

1. 「卒業論文・卒業研究Ⅰ」は、その後「同Ⅱ」の履修を中止した場合、および卒業論文・卒業研究を提出しなかった場合も単位として記録されるので、十分に注意して履修すること。
2. 「卒業論文・卒業研究」のタイトルと執筆者の氏名は、外国語学部が毎年3月に発行している「外国語学部紀要」の巻末に掲載される（本文の掲載はなし）。氏名の記載を希望しない場合には後日 Loyola で案内される内容を確認の上、別途申請をすること。
3. サバティカル中の先生を主査もしくは副査にして卒論を執筆する場合は、まず先生に卒論のテーマをメールで伝え先生の承諾をもらうこと（必要な提出用紙には事務室が代わりに押印可能）。

外国語学部ドイツ語学科 卒業論文・卒業研究 作成届

13年次生以前

ドイツ語研究・ドイツ語圏研究・ヨーロッパ研究 用

学生番号 _____ 氏名 _____

連絡先(電話) _____ (メール) _____

1. 専門分野 (いずれかに○) ドイツ語研究・ドイツ語圏研究・ヨーロッパ研究

2. 題目 _____

3. 要旨

4. 指導教員

主査 _____ 印

副査 _____ 印

5. Loyola での履修登録確認 (登録済であればチェック☑)

Loyola で履修登録をしました。

なお、期日までに論文・研究を提出しない場合は、卒業論文・卒業研究単位を取得し得ないことに異議ありません。

年 月 日

氏名 _____ 印